

令和 4 年度第 1 回堺市中区政策会議 会議録

日時：令和 4 年 5 月 26 日 19 時 00 分から 20 時 05 分まで

場所：堺市教育文化センター ソフィア・堺 研修室 1

出席者：【構成員】（敬称略）伊藤久美子、太田佳世、金澤正巳、澤本美奈子、静又三、中辻さつ子、森田裕之、山本章雄、貝谷理穂子、桂恵輔、神崎隆之介、高田彩加、陳代修平、山口睦季、米田啓吾、脇田利奈（以上 16 人出席）

【事務局】西川明尚（区長）、影山誠（副区長）、阿部勝彦（自治推進課長）、長谷英俊（自治推進課長補佐）、名越賢治（深井駅周辺地域活性化推進室長）、野口正一（企画総務課参事役）、竹内秀和（企画総務課長）、城野武士（企画総務課長補佐）、重谷憲治（企画総務課企画係長）、川元慎平（企画総務課主査）、神楽所千花代（企画総務課副主査）

1 開会

○司会（重谷） 傍聴にお越しいただいております皆様へお知らせします。傍聴にあたりましては「堺市懇話会の傍聴に関する要綱」を遵守いただき、発言については固くご遠慮いただきますようお願いいたします。また、合わせてアンケート用紙も添付しておりますので、中区政策会議についてご意見・ご感想ございましたら、そちらへご記入をよろしく願います。いただきましたご意見については、今後の参考にさせていただきます。

なお、この会議は公開で実施しております。事務局において、写真撮影や録音を行っていますので、ご了承くださいますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、只今から令和 4 年度第 1 回堺市中区政策会議を開催させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、中区役所企画総務課の重谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の構成員の出欠について、でございますが、藤田構成員、松居構成員、小倉構成員、西川構成員、三渡構成員におかれましては、所用のため欠席というご連絡をいただいております。

議事に入る前に、今回の会議開催にあたりまして、お願いがございます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会議時間を 1 時間程度とさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第に従いまして順に進めさせていただきます。まず、開会にあたりまして、中区長の西川よりご挨拶申し上げます。

2 中区長挨拶

○西川区長 皆さんこんばんは。中区長の西川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、平日のお忙しい中、また、もうそろそろ雨が降るといふ予報もある中でわざわざお越しいただきまして、本当にありがとうございます。ここからは会議の趣旨に沿って座ってご挨拶させていただきます。

この区政策会議ですが、実は去年の 7 月に設定をされています。ところが、先ほどありましたようにコロナの関係で全然皆さんとお顔を合わせて会議ができませんでした。今回ようやく皆さんとお顔を合わせて会議をさせていただけるので、本当にありがたいなと思っています。まだまだコロナも収まりきっていませんが、どうかこういう会議も続けていきたいなと考えています。

構成員の幾人かの方々には、実はずっとお世話になっている会議体がありまして、平成 27 年から区民評議会という名称で、堺市の条例に基づいて、市長の諮問機関としてスタートした経緯があります。これは、市長ならびに区長

から、こういうことに対してご意見をくださいと、諮問をさせていただいて、ご意見を取りまとめていただいて、答申をいただく、というスタイルの会議をずっとやっていました。

ただ、今回市長もお代わりになって、今度は区長の政策を後押しするような会議体、ですから、取りまとめていただいて答申をいただくというスタンスではなくて、僕らがお聞きしたいご意見を、意見交換を我々に見せていただく。どんな意見があるんだろう、こんな意見があるんだろう、というところを見せていただくという会議に変わりました。これも条例に基づくものですが、そういう会議体が変わって初めてのお顔合わせをしての会議となります。

今日は後ほど事務局からもご説明いただきますが、新たに構成員になっていただいています府大の学生さん、今日は11名中8名お越しいただいています。そういう意味では、若い方々のご意見、地元に通じた方々のご意見、また、学識経験の高い先生方のご意見、こういうのをいただきながら施策を進めていきたい。

特に今日は、深井駅周辺エリアの活性化というのを中区として取り組んでいくということで、大掛かりなプロジェクトが進みつつあります。これについて忌憚のないご意見を頂戴したいと思っていますので、本来は立ってですね、かしこまってご挨拶というのが役所のスタイルですが、そういう会議ですので、ざっばらんなお話、ご意見をいただけたらと思います。どうぞよろしく願います。

3 構成員紹介

○司会（重谷） 続きまして、今回、区政策会議となってから初めて対面での会議開催となりますので、構成員の皆様をご紹介させていただきます。

お配りしております名簿順にお1人ずつお名前をお呼びいたします。恐れ入りますが、お名前を呼ばれた方につきましてはご起立いただき、簡単に結構ですので、一言ずつご挨拶いただきたいと思います。

それでは、(株)パソコンレスキューサービス代表取締役、伊藤久美子様。

○伊藤構成員 ただいまご指名いただきました伊藤久美子と申します。よろしく願います。

先ほど区長の方からご説明があったように、区民評議会の時から参加させていただいて、今回また、政策会議と一緒に皆さんとも勉強させていただきたいなと思いますので、よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして、子育て支援こころ育みネット代表、太田佳世様。

○太田構成員 皆様こんばんは、太田と申します。

私は、堺市の子育て支援で「堺市みんなの子育てひろばきらり」の運営と、自分の校区で、「東深井つどいば食堂ふらっと」を運営しています。私も区民評議会のと時から参加させていただいていますが、久々に対面での会議、とても楽しみにしています。また、いろんな学びをいただけたらと思います。よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして中区自治連合協議会会長、金澤正巳様。

○金澤構成員 皆さんこんばんは。金澤でございます。

私自身、この水賀池、池の名前どおり水池町で、先祖から住んでおります。この真向いの東深井小学校は、我々の小学校校区でして、水賀池も愛着もありますし、小学校の方も60数年経ってですね。意外と環境もいいとは思いますが、これからは5年10年先、本当に移り変わりが早いのではないかなと思います。少子高齢化が進んでいく中で、深井駅を中心にしたこの地域を本当に住んでよかった、また、若い世代がこの次の時代を担ってもらう地域にしていければと思います。よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして、中区青少年指導員会会長、澤本美奈子様。

○澤本構成員 こんばんは。青少年指導員会中区会長の澤本です。

成人式とかやらせていただいています、皆さん若い方のご意見をたくさん聞いて、今日はいろんなお勉強して帰りたいと思います。深井周辺がどんどんこれから変わってくる、その変わり目を見られるっていうことを、大変楽しく、楽しみにしておりますので、どうぞいろいろ教えてください。よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして、中区自治連合協議会相談役、静又三様。

○静構成員 こんばんは。静でございます。いつもお世話になっております。

今日は本当に若い大学の生徒さんがご出席いただきましたこと、本当に我々も反対に勉強させていただこうかなと
思っているところでございます。いろいろなことを見せていただきますようよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

○司会（重谷） 続きまして、中区民生委員児童委員協議会会長、中辻さつ子様。

○中辻構成員 皆さんこんばんは。中区民児協会長の中辻でございます。

久しぶりに皆様のお顔が見ることができて、本当に懐かしいやら嬉しいやらで、私も区民評議会からずっとお世話に
なりまして、参加させていただいております。またいろいろと皆さんの若いお声を聞きながら勉強させていただきたいと思
いますので、よろしくお願いいたします。

○司会（重谷） 続きまして幼稚園教諭、藤田浩子様、大阪公立大学ボランティア・市民活動センター職員、松居
勇様におかれましては、本日欠席されております。

続きまして、大阪公立大学大学院情報学研究科教授、森田裕之様。

○森田座長 皆さんこんばんは。名簿を見ると私だけ大阪公立大学に変わっておりまして、オフィスの位置は変わらない
ですけども、皆さんもご存じのとおり4月から名前が変わっております。

先ほど皆さん自己紹介でおっしゃったように、中区にお住まいの方がちょっと多い中、私は大学の所在が中区とい
うことで、この会議の前身の区民評議会の頃からお世話になっております。あとは、堺市の伝統産業などの調査も以前
させていただいたことがございまして、特に中区ですと注染が非常に名高い産業かなと思っております。皆さんとはちよ
と違う立場かもしれませんが、いろいろ違った立場から、ご意見させていただければと思っております。

今日は、先ほどから皆さんの自己紹介であるように、皆さん学生さんの非常に活発なご意見を楽しみにして、
事前に拝見したところだと、意見書も積極的にいろいろ書いていただいておりますので、今日もその調子でいろ
うご意見いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（重谷） 続きまして、大阪府立大学名誉教授、山本章雄様。

○山本構成員 皆さんこんばんは。ただいまご紹介いただきました山本章雄でございます。

私の肩書きは、大阪府立大学名誉教授ということになっておりまして、これは称号なので、私が死ぬまで、大阪府
立大学ということになりますので府立大学をずっと背負いながら生きていくということになります。どうぞよろしく願
います。

本職の方は、名誉教授とありますように、4年前に大阪府立大学から退職しまして、今現在、神戸の教育短期
大学に勤務しております。とっても偉そうな言い方をしますけれども、この堺においては、中区の発展なくて堺の発展
なし、という思いで取り組んでいこうと思っておりますので、皆さんどうかよろしくお願い致します。

○司会（重谷） ありがとうございます。

これからご紹介させていただきますのは、大阪府立大学の学生の皆様でございます。なお、先ほども構成員の先生
方からありましたように、この4月に大阪府立大学から大阪公立大学へ名称変更をされておりますが、大阪府立大
学であるときに入学された皆さんは、大阪府立大学の学生という位置づけになるということで聞いております。

それでは順にご紹介させていただきます。まず小倉弓果様におかれましては、本日欠席されております。続きまして
貝谷理穂子様。

○貝谷構成員 こんばんは、大阪府立大学工学域の3回生の貝谷理穂子です。

私は堺市の中区の方と堺市の資源循環推進課の方と一緒にエコショップを啓発する活動もしております。今日は
いろいろ勉強させていただきたいと思っております、よろしくお願い致します。

○司会（重谷） 続きまして桂恵輔様。

○桂構成員 初めまして、大阪府立大学の生命環境科学域に所属しています桂恵輔と申します。

私は、この堺市ではなく兵庫県の方の出身ということで、大学生になってこの堺市にやってきたので、まだ堺市についてあまり詳しくないというか、勉強させてもらうことが多いと思いますが、皆様との意見交換で学んでいけたらと思っていますので、よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして神崎隆之介様。

○神崎構成員 皆さん初めまして、大阪府立大学現代システム科学域に所属しております神崎と申します。

私は生まれも育ちも大阪府の堺市ということで、ゼミナールの教授に紹介していただき、このような貴重な機会をいただけたので、今後、卒業論文のテーマとしたり、今後の堺市の発展について皆様とご意見の交流をさせていただけたらなと思っています。本日はよろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして、高田彩加様。

○高田構成員 皆さん初めまして、大阪府立大学生命環境科学域に所属しております 4 回生の高田彩加と申します。

私は、大学生になってから、子ども食堂などのボランティアに取り組んできました。そのようなボランティアの経験や大学で学べる専門性などが生かせればと思い、政策会議に参加することにしました。中区にお住まいの方よりは中区に関する知識はそこまでないとは思いますが、だからこそ言える意見もあると思うので、意見交換でいろんなことを学びつつ私も意見を発信できたらいいなと思います。本日はよろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして陳代修平様。

○陳代構成員 こんばんは。大阪府立大学工学域の 3 回生の陳代修平と申します。

ボランティアセンターの方で活動させていただいて、中区の方では注染販売会に参加したりであったり、あと土師校区の皆さんと一緒に防災活動に取り組んだりしていました。今は企画総務課の方と一緒に、地域 SNS ピアッザというものを活用した地域コミュニティの活性化と一緒に取り組もうとしています。以前は北区の方で区民評議会に参加させていただいて、いろいろ学びになったので、今回もいろいろ学ばせていただければなと思っています。よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして西川佳希様と、三渡大介様におかれましては、本日欠席されております。続きまして、山口睦季様。

○山口構成員 こんばんは。大阪府立大学の地域保健学域教育福祉学類に所属しております 2 回生の山口睦季と申します。

区は違ってしまのですが、高校と大学、堺市でお世話になっていることで、微力ではございますが大学で学んだことを少しでも堺市に還元できればと思い、今回会議に出席させていただくことになりました。よろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして米田啓吾様。

○米田構成員 皆さんこんばんは。大阪府立大学生命環境科学域に所属しております米田と申します。

私は堺市中区の八田荘校区に住んでおりまして、中区民として意見交換ができればなと思っています。本日はよろしく願います。

○司会（重谷） 続きまして、脇田利奈様。

○脇田構成員 はじめまして。私は本年度から大学院に入学したので、大阪公立大学になります。大阪公立大学の農学研究科の脇田利奈と申します。

私は行政とかに今まであまり関心を持ってこなくて、まだ無知なことが多いと思うのですが、これを機に関心を持って、日頃大学でお世話になっているこの地域に、少しでも何か還元できたらいいなと思っています。よろしく願います。

○司会（重谷） 構成員の皆様ありがとうございました。以上 21 名の方に中区政策会議構成員にご就任いただきました。構成員の皆様の任期につきましては、令和 5 年 6 月 30 日までとなっております。

また座長につきましては、昨年度、書面開催で行いました第 1 回中区政策会議におきまして、森田構成員に決定しております。よろしくお願いいたします。

なお、堺市中区政策会議開催要綱に基づき、座長の職務代理者をご指名いただく必要がございますので、森田座長からご指名くださいますでしょうか。

○森田座長 ありがとうございます。先ほどご紹介いただきましたように、昨年度に書面で座長に選んでいただいております。職務代理者ですが、区民評議会のときも副会長として、職務代理をお願いしておりましたのと、長い経験を積んでいただいております、非常に詳しいということもございまして、静構成員にお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

○静構成員 本当に森田先生からあたたかいお褒めの言葉をいただき、ここに座りにくいなど、このようにも思っているところでございます。しかしながら、山本先生から言っていただいたように、この堺は中区がなかったら発展しないというような言葉をいただいたわけでございますので、どうか皆さん方のお力添えをいただきながら頑張っていきたいなと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

○司会（重谷） 静構成員ありがとうございます。それでは、ここからの会議につきましては、森田座長に進行をお願いしたいと思います。座長よろしくお願いいたします。

4 議事

○森田座長 改めまして座長を務めさせていただきます、森田でございます。皆様よろしくお願いいたします。

それでは、次第に則りまして進めさせていただきたいと思います。次第の 4 番、議事、水賀池公園の再整備等について、でございます。事前に、構成員の皆様にご意見を伺っており、事務局でご意見をまとめていただいております。

まずは、今回の議事の設定理由を説明いただきまして、続けて、各構成員の意見についての概要を事務局から説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○司会（重谷） それでは、今回の議事の設定理由について説明をさせていただきます。

令和 3 年 3 月に策定いたしました、中区地域計画におきまして、将来像実現をけん引する先行的取組といたしまして、深井駅周辺地域活性化プロジェクトを位置づけております。そのプロジェクトの重点目標の一つに、水賀池および水賀池公園の再整備を掲げております。

今後、このプロジェクトを進めていくにあたっての参考とさせていただきたいことから、今回、水賀池公園の再整備等を議事として設定いたしました。なお、深井駅周辺地域活性化事業のコンセプトや方向性を示しました基本構想案をこのたび策定しまして、昨日、基本構想案に対する意見募集について公表しております。参考資料として皆様にもお配りさせていただいております。この概要について深井駅周辺地域活性化推進室長の名越よりご説明いたします。

○名越室長 それではお時間の都合もございまして、深井駅周辺地域活性化事業基本構想案の策定について、概要版に沿ってご説明します。一番最後に綴っている A 3 判の概要版をご覧ください。

概要版の上段左の I 基本構想策定について、をご覧ください。策定の目的ですが、深井駅周辺地域活性化事業の推進により、水賀池公園の機能強化と、拠点施設を整備し、地域資源を生かした取り組みとの連携により、多様な世代の人たちが集い、交流する賑わいを創出し、深井駅周辺地域の拠点機能の強化を図り、成長の歩みを止めない中区を先導いたします。

上段中央の II 深井駅周辺地域の現状、をご覧ください。現状・課題でお示しておりますが、中区の現状といたしまして、区の人口は減少傾向で、人口減の緩和のためには定住志向の向上が、昼間人口を上げるためには、経済の活性化や雇用創出が必要です。交通アクセスにおいては、路線バスの利便性向上、駅東西の通行環境、わかりやすい歩行者動線の確保が課題となっております。地域資源等についてですが、中区の多様な地域資源の魅力

を、にぎわいに生かすきれておらず、水賀池公園については、駅に近接し、鉄道からの視認性も優れ、幹線道路にも接道する立地であり、にぎわいの創出に繋がる活用が望まれています。

概要版の上段右側のⅢ基本的な考え方、をご覧ください。上から、基本理念、基本方針、市有地の新たな活用による効果を示しています。本事業の効果は、市有地の新たな活用による効果、に示しているとおり、市有地の柔軟で多角的な活用により、民間投資を誘導し、得られた収益を新たな公共投資に生かし、市民の利便性の向上と持続可能な収支の循環、を実現することです。

続きまして、概要版の下段Ⅳ取組方針、をご覧ください。左側に全体構成を示しています。重点目標として三つを掲げており、重点目標①、管理的支出から活用の収益へ、の実現手法である水賀池公園の機能強化と、土地利用転換、民間活力の導入による利活用を進め、その効果と課題を見極めた上で、重点目標②、新たな拠点へのアクセスの向上、や重点目標③、歩行者空間の形成に対応することを考えています。下段中央には取組イメージを示しており、地域資源を活用し、関係部局との施策連携により、各方面からの来訪を促進することで、深井駅周辺を活性化し、中区全体への波及効果を図ることをめざしています。下段右側には分野別の取り組みとして、代表的な取組を示しています。

最後に、最下段に深井駅周辺の活性化をにぎわいの KPI の評価指標として、深井駅の乗降客数の伸び率の上昇、を設定しています。

皆様には、本構想案の重点目標であり、深井駅周辺地域活性化のトリガーとなる、水賀池公園の機能強化と、拠点施設について自由なご意見をお聞かせ願いたいと考えております。

簡単ではありますが、時間の都合もごございますので、本構想案のご説明は以上とさせていただきます。お持ち帰りいただき、またご覧になってもらえればありがたいです。以上です。

○司会（重谷） それでは構成員の皆様から水賀池公園の再整備等にあたりまして、公園施設に望むもの、民間施設に望むもの、その他のご意見、以上、3つの観点でご意見をいただきました。

お配りしております資料、ホッチキス止めしております A4 の資料ですけれども、水賀池公園の再整備等について、こちらにまとめておりますので、ご覧ください。全て紹介すると少し時間がかかってしまいますので、簡単ではございますがご紹介させていただきます。

まず、公園施設に望むものにつきましては、トイレですとかベンチ、広場、芝生などですね、そういった観点のご意見をいただいております。きれいなトイレですとか、くつろげるベンチ、イベントができ防災拠点となる広場、現在ある桜やつつじを残してほしい、大型遊具、健康遊具、また水遊びができる場所、バーベキュー施設、ボール遊び専用のスペース、そういったご意見を頂戴しております。

続きまして3枚めくっていただきましたら、民間施設に望むもののご意見をまとめたページがございます。こちらの方では、カフェですとか、テイクアウトができる飲食店、託児所などの子ども関連の施設、そういったご意見を頂戴しております。

最後に2枚めくっていただきますと、その他のご意見をまとめたページがございます。そちらの方では、設備や交通に関する、にぎわい創出のためのイベント実施、憩いの場、交流の場にしてほしいなど様々なご意見をいただきました。

構成員の皆様のご意見を参考にさせていただきます。今後の事業実施に取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

○森田座長 ありがとうございます。

ただいま事務局より説明がございました。説明内容についてご意見、ご質問等ございましたらお聞きたいと思いますがどうでしょうか。特にございませんか。ありがとうございます。

それでは、構成員の皆さんから事前にたくさんの意見をいただいております。その内容をご覧いただいているもしくはご覧いただけてきたかと思いますが、例えばこういう細かい施設とか、ベンチがどうかという話はここに書いてあるので

よろしいかなと思うんですけれども、改めて例えば自分はこういうのがいいかなと思っていたんだけど、皆さんの意見を拝見すると例えば、こういう方向性も重要なとか、もしくはここに書かれている内容でもう少し深く意見を聞いてみたいとかですね。以前の区民評議会とは違うし、ここでは別に意見をまとめるということではなく、皆さんの意見を出していただくという姿勢でいろいろお聞かせいただければと思いますので、そういう観点から、少しこれを踏まえて、方向性とか、もうちょっと意見を聞いてみたいとか、そういうことについて少し議論させていただければと思います。

なかなかいきなり当ててもあれかもしれませんが、まず最初に何か聞いてみたいとか、これを読んで、こういうふうにしたんだけど、こういうふう考えた方がいいかもしれないとか、何かそういうご意見等ございましたら、お聞きしたいのですが、誰かございますでしょうか。

それでは、なかなか最初から言うのは大変かなと思いますので、これ拝見しますと当てて恐縮ですけども、金澤構成員がかなり周りのご意見もお聞きになられた、地域の方々とかお近くの方とかに聞かれたというようなことを書かれているので、もう少し詳しくご紹介いただければと思うのですが、よろしいでしょうか。

○金澤構成員 ご覧のようにこのアンケートの中にもありますが、春は桜、そしてつつじということで、この地域に住んでいる皆さんからすると、非常に慣れた光景で静かな公園ということで、残してほしいという意見もいっぱいあります。やはり高齢者も多いですから、池の周りをウォーキングしている人も、朝晩、また日中、また、退職した方が大変多いところですから、ウォーキングしている人が非常に多いと思います。

私も先ほど言いましたように、70年あまりこの地域に住んでいますと、その環境に慣れていること自身が非常にいいとは思いますが、変えたくないという気持ちもあるのですが、しかし、これからやっぱり、過去、いわゆる70年前を振り返ったときに、この地域がどんな所だったのかと言ったら、この向かいの小学校まで途中、野々宮神社があるのですが、水賀池の横を通って、東深井小学校まで田畑ばかりで、野々宮神社しかなかったんです。

そうしているうちに泉北高速鉄道が走るようになって、もう航空写真を見ると電車の線だけが敷かれてあってですね、周りはただ畑ばかり。30年間そういった状況で、これからのやっぱり我々の子ども、孫たち、またこの地域の、本当に企業誘致をしてだけじゃないですけども、中区全体が本当に活性化していくうえにおいて、私自身の考えとしては、企業誘致をして、大企業に来てもらえるような場所があればいいかなと思うのですが、いかんせん今の現状だと、この中区の中ではこれが不可能かなというように思うのですが、やはりこの地域の活性化となってくると若い世代が本当に集まってくれるような、いろんな施設が必要ではないかなと思います。

深井は3校区ありますが、この深井3校区は昔から一つということで戦前から、もともとは深井でしたけども、今は深井、深井西、そして東深井の三つにわかれてますけれども、そろそろ校区が一つになって、年間の行事、祭、また盆踊り、またその他のフェスタも含めて、活性化というかそういう行事ごとの多い地域であるもんですから、文化歴史を若い世代に残していけるような話し合いを、皆さんの意見を聞かせていただいて、本当にやってよかったといってもらえるような地域になればと思います。泉北泉ヶ丘も南海電車がリニューアルされることを新聞で発表されてましたし、これから深井で活性化できる中で、なんとしてもこの地域、また深井駅においてですね、利便性のあるような形にしていればいいかなと思います。

○森田座長 ありがとうございます。

意見としてはいいところなので残したいというところはあるけれども、今後のことを考えて、活性化していく方向で検討していったらということですかね。ありがとうございます。

何か他にお話というか声はございますか。

それでは、また違う立場から恐縮ですけど、山本先生から、ご意見いただいているコンパクトシティの視点からご発言いただければと思います。よろしくをお願いします。

○山本構成員 すいません、ご指名いただいたので、少しお話しします。

まず辛口なところからスタートさせていただきたいのですが、我々が意見を求められたのは、この水賀池公園の再整備等について、意見出してくださいということでした。私は、たぶん違う視点からご回答させてもらったのですが、今日ご提示いただいたのは、深井駅周辺地域活性化事業基本構想ということでした。これ実は問われたことと、今日示されていることの整合性が合わない、と私は感じております。

私が意見させてもらったのは、そもそもの深井駅周辺の事業の中の一つとして、水賀池があたりしてそこだけ聞かれましたよねというふうな細かい見方じゃなくて、トータルで見た方がいいですということを多分示させていただいたのかと思うのですが、この深井駅周辺でということでの話を大きく広げてもらったかという、こういう事業っていうのはどこか特化してそこを集中的に見ると今回ほんと大変ですが、もうちょっと周囲を広げて、全体的にトータルに見ていくのがいいかなという感じでございます。

併せて言うと、今ちょうど座長からお話がありましたように、コンパクトシティという考えで、地方の自治体などで機能が集中してくる方がより活性化しますよという考え方ですが、この意味は、やっぱり多機能化を図った方が賑わいができますよ、ということだと思うので、学生の皆さんも含めて出していただいている意見というのは、本当に様々な機能をここに載せましょうという意見だと、これは一つの軸かなと感じおります。

○森田座長 ありがとうございます。

総合的にやっぱり考えないといけないというのは非常に大事な視点なのかなと思います。池って言われるとあそこだけって思っちゃうかもしれませんが、やっぱりそれだけではなくて、例えば資料にも示されておりましたけども、周辺に他のスポーツ施設もありますとか中区とはちょっと離れちゃうかもしれませんが、例えば商業施設もでかいのがありますとか、やっぱりちょっとそういうバランスも考えた上でいうのもひとつの考え方かなという気がいたします。

他に何かいかがでしょうか。

○西川区長 すいません。今、山本構成員がおっしゃったとおりで、今回事前にこのご意見を頂戴したのは、あくまで本当に水賀池の再整備についてのご意見を頂戴して、その背景にはこの深井駅周辺の活性化っていうのがベースにあって、その内の重点目標の1や2以下の分野別の取組の中での拠点整備としての水賀池がある、こういう全体の構成の説明も不足してまして、その辺のご意見の整合性というのは確かに説明不足の感があったと思います。申し訳ございません。

それとこの後のスケジュールを少しお話しさせていただくと、まず基本構想として、基本的な方向性みたいなものを出します。そして、すぐさま、具体的な実施計画みたいなのが紐付けでついてくるんですね。

実はこの案件もそれは用意はしてまして、それが水賀池の再整備です。なので、皆さんには行政のこの回りくどいところにお付き合いしていただくのは、誠に申し訳ないので、基本構想の部分は行政がたたきを作って、今いわゆる意見募集をさせてもらっていますけれども、いろんなご意見を頂戴する。ただ、実際のところ、水賀池の再整備というのはキーになる事業ですので、このコアの部分皆さんにご意見を頂戴したいというのは、われわれの本質としてありました。

少し真意は伝わっていませんが、めんどくさい部分は皆さんにはお手数をおかけしませんので、きっちりそのキーになる事業の部分での具体的意見をいただきたいという真意でした。山本構成員ご理解いただけたでしょうか。よろしく願います。

そういう意味では、この一番下にある KPI とは、という話になっていると思いますが、最近堺市は KPI をよく使います。行政全般で使っているのかどうか、ちょっと僕は疑問もあるんですけど、KPI は日本語で、重要業績評価指標と言うんですけど、英語で言うとキー・パフォーマンスのインジケーターです。いわゆるキーになる重要な動き、活動、パフォーマンスを測る指標のことを KPI と今一般的に呼んでいて、ゴールになるのは KGI っていうんですね、キーになるゴールのインジケーターになる、何をもちて評価を図るねんっていうところを、項目とその数値を出すっていうのが行政の流行ごとのようになっていますが、これが深井駅の乗降客数の伸び率を上げましょうということですので、結構現実に近い数字をきっちり上げていこうということですね。

これは何をしたら上がるのかというと、水賀池の拠点整備をすることが多分一番になる。そうすると、バス路線の変更、バスの事業所さんが動き出しますね。すると堺市も、いわゆるロータリーの再整備も動かざるを得んようになりますね、というこの派生を、波及を狙っています。

そのための第一歩が、皆さんにご意見をお聞かせいただいたこの水賀池公園の再整備、こういう構図になっている状態ということで、すみません、説明がおぼつきませんでしたけど、ご理解いただければと思いますので、よろしく願います。

○森田座長 ありがとうございます。他にご意見はございますか。

○脇田構成員 基本構想を見させていただいて、水賀池は多様な世代に来ていただくことをめざされているのかなと思うのですが、そしたら世代が違ったらそれぞれが、例えば小さい子やったら何か小さい子向けの遊具とか、もうちょっと大きくなったらボール遊びしたいとか、もっと大きくなったら、というように、それぞれの世代に合わせた施設が必要になると思います。でも、敷地には限界があるから、全部作ることは多分できないと思うので、どこを優先していくかとか、どれを多めに作るか、というのが大事かなと思っていて、森田教授の意見を見せていただいて、その割合とかどういった構成の家庭が多いとか、そういうことを書いておられたのがどんな感じが、ちょっと詳しく知りたいなと思いました。

○森田座長 ありがとうございます。私の意見にも触れていただいて、どうもありがとうございます。

話が長くなってしまうので、非常に簡単に申し上げますと、私はデータ分析等が専門なもので、それで少し何か調べてみようかなと思って、一番最後のページとか見ていただいたらいいのですが、行政のオープンデータが最近整備されてございまして、いろいろ調べられるもの調べられないものあるのですが、例えばいくつか見た中で、この図1だと中区と堺市全体と、大阪市の世帯構成がどう違うのかをちょっと見てみたんですね。そうすると、そんなに大きく違わないのですが、大阪市と比べると例えば世帯人数が4人とかですね、そういうところって結構違って、中区が多かったのは3人世帯というのが、実は私が最初に想像していたのと違ってました。

それから、現地を見ないといけないと思っていて、大学から自転車で土塔を經由しながら、池まで行って池を一周してみたのですが、周りが住宅地で、しかも池の横にもマンションがたくさん建っているんですね。そう考えるとやっぱりそういう家族世帯、よく想定されるのは、若年層の夫婦&子どもの3人が多いのかなと考えまして、そうじゃない世帯もあるかもしれませんが、そうだとすると、周りを見てみて例えば飲食店とか、おしゃれなカフェとか、店はあるんですけども、購入頻度の低いところだとなかなか足繁く通っていただけないので、そういうお店を整備されると人も集まり、周辺住民だけでなく、せつかく駅もありますので、ちょっと立ち寄ってみようかなと思われる方も駅で乗降され、そうするとさっきのインジケーターみたいなもの上がるのかなという気もいたしまして、構成というのはそういう意味で言いました。

あとは、もう一つの図2の方はですね、業種の比較でこれもそんなに大きな違いはないのですが、簡単に何が言いたいかというと、Mと書いてある宿泊業飲食サービス業、これちょっと大きいので一概にはなんとも言えないのですが、簡単に言うと、そんなに多く飲食店がないのではないかなということが言いたくて、そういう意味で先ほど申し上げたような方向性も一つ考えることによって、新たな発展があるのではないかなというのが、私が書かせていただいた内容です。

他は何か今みたいな他の誰かに聞いてみたいとかでも結構ですので、ご意見はありませんか。

○山口構成員 民間に望む施設として、子どもの施設として託児所をあげさせてもらいましたが、個人的には、保護者が完全に任せてしまって、施設の中で子どもたちが過ごすというよりも、公園でスタッフの方と一緒に自然と触れ合いながら遊ぶ方がいいんじゃないかなと思っていて、自分自身も田舎で育ったので、堺市に住まわれているお子さんは田舎に比べて自然と触れ合う機会が少ないのではないかなと個人的には感じているので、完全に施設の中で過ごすというよりは、公園内で自然と触れ合いながら体を動かして遊ぶのがいいんじゃないかなと考えています。

でも、そのことに関してデメリットもあると思うので、構成員の中にも子どもに関する事業に携わっている方もいらっしゃいますので、何かご意見というか分析とかを聞かせて頂けたらと思ったんですが、お願いできますでしょうか。

○森田座長 いかがでしょうか。今のご発言に対して何か参考でもいいですし、こういう観点もあるなっていうご意見でもいいでしょうし、どなたかございましたら。

今、山口さんが言ってくださったのは、もうちょっと自然に触れた育児というか、子どもの成長が必要なのではないかというご意見ですかね。そのとおりだな、と思います。

いかがですか、特に中区にお住まいの方とか。

○西川区長 すいません。皆さんの発言を促すためにも、堺市の現状を少しお話しすると、今山口構成員さんがおっしゃったのは、とても的を射ていて、堺市だけではなく、日本全体で待機児という言葉 皆さんお聞きになったことがあると思います。いわゆる保育所に入れないうち子どもたちがたくさんおられるというですね。日本がその制度として採用したのは実は小規模保育園という制度です。どういう制度かという、0 歳児、1 歳児、2 歳児をベースにしているのですが、園庭の基準を緩和して、本当にビルの一室でもいいですよ、というような形で預かれる保育機能を、日本が国策として整備している経過があります。堺にもたくさん小規模保育園があります。その結果、プラスの結果として、本当に待機児は少なくなりました。出産後、子育てのために会社辞めないといけないとか、長く休まないといけないという、ちょっと不幸な時代がありましたが、そこはだいぶ解消されてきたというのが、プラスの結果としてあります。

一方で、山口さんがおっしゃるとおりで、昔幼稚園といえば結構なグラウンドのようなものがありましたが、今その小規模にそんなグラウンドはまったくないです。近くの公園までサークルカーで連れて行って、そこで先生の見れる範囲でちょっと遊んで、また帰ってくるみたいな。これは多分弊害やと思うんですよ。かといってやっぱり本当に先ほどおっしゃったような小さな子どもが安心して遊べる場所が、じゃあ街中にあるのかということそうでもない。そういう視点で、我々も整備していけないといけないと思っています。

○森田座長 ありがとうございます。なかなか街中なので、スペースは限られていると思いますが、周囲の公園等も作りながら一緒にそういう場が作れないかなと思います。他はいかがでしょう。

○静構成員 山口さんも、区長も言ったことですが、本当にこの活性化というのは、言葉は簡単やけど難しいなと思う。というのは、私は昨日、美原区の方へ用事で行きましたが、美原区の住民は、何でこないなつたんやと言っている。

何を言いたいかと言ったら、美原区役所からこの高速道路までの間、車が動かない。だから今、朝、お母ちゃんが、保育所に子どもを連れて行くのに車が動かないから仕事を遅れるとかね。事実として非常に大変なことが起きている。

そして、堺の防災センターも近所にできていますが、車はなかなかもう止まったら止まったまんま。水賀池の場合は、深井駅を組み合わせると、やっぱり今は車の時代でございますので、駐車場もなかったら、どないもいけへんやろうし。本当に今、若い大学生の皆さん方の知恵を借りないことには前向いて進まへん。

私の考えとしては、今堺市で、道の駅がないから、ここへ道の駅を置くのはどうか。道の駅は農協さんとあちこちで行っているけど、みんな成功してはる。

この水賀池でいろんなことやっても、成功しなかったら意味ないからね、やっぱり成功したいなと。だから、堺はこれだけ大きな行政でありながら、道の駅がないんやから、一番先に中区から道の駅でも作って、その中には山口さんが言うた保育所でも、そういうものも作っていただいたらね。若い人は車やろうけど電車も利用していただきながら、区長に冒頭に言うていただいた、とにかく北野田から深井駅へ来る、この路線、バスが非常に弱いわけやね。まして津久野へ行くバスの路線はもう完全に弱いから、これを何とかいっぺん考えていただきたいなとこのように思います。

○森田座長 ありがとうございます。

実は、予定より時間を押しておりまして、ただ、若い方の意見を、と思いまして、ちょっと長めにご意見を伺っておるところです。ただ、一応約束の 1 時間にそろそろ迫ろうとしておりますので、最後に何かご発言されたい方がいらっしゃいましたら、特に若い方がいらっしゃいましたら最後の意見としてお聞きしたいと思うのですが、最後に発言したい方はいらっしゃいませんか。

○**山本構成員** これちょっといろいろ発想するためのそもそもの状況をお伺いしたいのですが、一つは例えば今忌憚のない意見が出て多様な機能を作りましょうということになってくると、限られた面積の中では実現は厳しいとなってくると、立体化するという考え方が出てくるのですが、この地域は何か規制がかかっているのでしょうか、というのが一つ目です。

その規制の話でいくと、当然こういう素晴らしい池なので、自然保護という面でも、何らかの法があると思うのですが、何でもかんでも潰していいようなものではないと思うので、この辺のそもそもの土地の概要をちょっと教えていただくとありがたいと思います。

○**西川区長** ありがとうございます。本当に重要な観点でこの中に折りこめてないのは本当に申し訳ない。この水賀池もしくは水賀池公園と呼んでいる所は、この概要版でいうとピンクの網かけをしている、手羽先みたいな形になっている所ですが、全体で 6.3 ヘクタールあります。

そして、この 6.3 ヘクタールは、都市計画法という法律で、都市公園、地区公園の位置づけをすでにされていますので、都市計画法に基づく規制は一定かかります。

ただ現状は、この 6.3 ヘクタールのうちの、この東深井小学校の西側と南側のちょっと出てる部分と、池の周辺、これで 2 ヘクタールあるのですが、これは開設部分といって、公園としてもうできているという位置づけになっています。

ただ、真ん中にある池部分は、公簿上 4 ヘクタールあるのですが、これは水面のままです。従来、これは水利といって農業用水を貯める水としてあったので、水利組合さんが使っていました。ところが数年前に、この組合が解散されたので、今は公園としての位置づけに全て変わっています。だから公園の中の池、ということになっています。ただし、やっぱり都市計画法に基づく規制はかかっているという状態です。

かつ、都市計画でもう一つあるのは、用途地域という指定があるのですが、このエリアは第一種中高層住宅専用地域になっていますので、単純にいうと、公園と言われる所が全部そんな指定をされています。それで、何が建てられないかとか、もう細かいところも言い出すときりがないのですが、いろんな規制があります。

ところが、今はこのエリアは建蔽率とか容積率っていうんですけど、その土地で実は決まっています、この面積でこの平の土地にだいたい何%まで使っていというのが、建蔽率です。つまり、6 ヘクタールのうちの何%までは使っていますよっていうのが建蔽率です。また、それを上にどれぐらい積んでいいというのを容積率っていうんですけど、今のままでは、建蔽率は 60%で、容積率は 200%です。でもこのままだと普通に考えるとなかなか使えないじゃないですか。だって使える面積は規制があって、建てられる高さも規制があるので。これはどうにかしないといけないということで考えています。ある意味、今山本先生おっしゃったように、その部分のご意見も今後いただければありがたいと思っています。それは都市計画審議会という堺市の行政内の審議会としてあるのですが、ここでご了解をいただくという手続きがあります。それで、それも念頭に、今後、区にご意見もいただきたい、ということです。規制的にはそういうことですね。

もう一つ、ここに Park-PFI という表現があります。一番右下の右端のすみのところに書いてありますが、Park-PFI とは何かというと、PFI 事業ってご存知だと思うのですが、民間の資本で、いわゆる民間のファイナンスで、管理していただく、これを PFI 手法と言いますが、それを公園に当てはめたのが Park-PFI といいます。これは何かというと、公園は先ほど申し上げたようにいろんな規制があります。ところが、Park-PFI をやりますって言ったら、その物を建てられる基準が変わってきて、いろんなものが公園内に建てられるっていう緩和があるんです。

この基準を用いて、整備された公園にいろんなものを建てていける、例えばカフェを建てるとか、いろんな手法、いろんなものを建てられるようになるんですけど、その手法も用いましょうっていうのは、大前提としては僕は基本的に思っています。基準の緩和と規制というのは、今のところそういう形です。先生よろしいですか。

○**森田座長** ありがとうございます。

それでは、ご意見も聞き始めたらまだいろいろあるのかもしれませんが、もうお時間が過ぎてございますのでもし機会がありましたらまたというところで、今日はこのぐらいで締めさせていただきますと思います。ありがとうございました。

本日は、初回でなかなか発言しにくいところもあったかもしれませんが、皆さんから活発な意見を色々いただきました。どうもありがとうございました。

事務局におかれましては、今日のご意見等を踏まえまして、今後の整備に活かしていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の議案は全て終了いたしました。本日の議案あるいはそれ以外でも何かご意見のある方ございましたら、挙手いただければと思いますがいかがでしょうか。

よろしいですか。では、議案内容に対する意見や何かご不明点ございましたら、遠慮なくまた事務局にお申し出いただければと思います。

それでは以上をもちまして第 1 回堺市中区政策会議を閉会させていただきたいと思います。構成員の皆様におかれましては、第一回目の会議の開催にあたりましてご協力いただきどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。では今日は以上で終了いたします。

○西川区長 ありがとうございました。